

会議の開催結果

1 会議名	第4回 行政改革推進懇話会2005
2 開催日時	平成17年10月19日(水) 午後1時30分～午後3時
3 開催場所	さいたま市役所 議会棟2階 別館特別会議室
4 出席者	<p>(委員)</p> <p>委員長 本田 弘</p> <p>副委員長 山田 宗一</p> <p>委員 池澤 幸一 石田 武 近藤 雅透</p> <p>島 頼子 富田 新太郎 長澤 岩作</p> <p>西川 雅史 福田 誠 森田 勝利</p> <p>吉野 喜八</p> <p>(事務局)</p> <p>総務局 総括参事 村田 謙治</p> <p>改革推進室 副参事 森田 治</p> <p>主 査 中野 明彦 佐野 篤資</p>
5 議題及び公開・ 非公開の別	議題は、会議次第に示すとおり。 / 公 開
6 非公開の理由	—
7 傍聴人の数	なし
8 審議内容	別紙のとおり
9 その他	<p>(会議次第)</p> <p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1)「行政改革推進プラン(事務局案)」の修正について</p> <p>(2)「具体的な取組み」について</p> <p>3 閉会</p> <p><資料></p> <p>さいたま市行政改革推進プラン(事務局案)</p>

行政改革推進懇話会 2005 会議録

(本田委員長) 本日の議題「行政改革推進プラン(事務局案)の修正」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 前回までの会議と大きく修正した部分(中期財政見通し、改革の目標)について説明をする。

<資料に基づいて、中期財政見通し、改革の目標を説明>

(石田委員) 用語の使い方の問題として、プランの中で「行政サービス」と「公共サービス」という言葉が使われているが、どのように使い分けがされているのか。推進目標では「公共サービス」とあって、大きな目標としては公共サービスの一部である「行政サービス」と限定されているようであるが、使い方を整理しているのか。

(事務局) プランの中で表記している「公共サービス」と「行政サービス」の使い方の整理については、精査したうえで次回説明をする。

(石田委員) 「行政のスリム化」については記載されているが、果たして行政はスリム化されても「公共サービス」全体は低下するのか、よくなるのかが書かれていない。

(事務局) 3 ページで「質の高い行政サービスを提供する」ことを書いているが、不必要となった事業などをスクラップすることも考えられるので一概に「行政サービス」を含めた「公共サービス」全体がよくなるとは表現しづらい。プランの中では「市民満足度を高める」という表現を使っている。

(石田委員) 市民の視点に立つと、公共サービスの受益者としての市民にとって、行政サービスを含む公共サービス全体が高くなるのかというのは重要なところである。

(島委員) このプランは、役所の人たちのためのものなのか。役所ではこういうことをやっていることを市民に示すことが目的なのか。

(事務局) 両方である。市役所内部の職員に対して改革を進めることを再確認させることと、市民に対して市役所でやっていることの透明性を高めるとともに、市民と一緒に改革を進めることを示すものである。

(島委員) 目標が大きく2つ分かれて、さらに4つに分かれている。それぞれつながっているようであるが、ごちゃごちゃしていてわかりにくい。煩雑で読む気がしない。市民に示す目的があるのなら、もっとわかりやすくしたほうがよい。

(事務局) 改革の目標については、前回の会議を受けて、今までの2つの目標を4つに分けることは、あまり異論がなかった。但し、行政をスリム化させるなど、目標が具体的内容になっていることから、大きな目標を立てる意見が出た。煩雑になるのではという意見は事務局でもあったが、今回、こういう形で案として提示させてもらった。

(山田副委員長) 健全財政の維持という目標からきているのかもしれないが、「改革の視点」の中にある「納税者の視点に立って改革を実行する。」の「納税者」という表現には違和感がある。税を納めている人に限定している表現よりは、「市民」としたほうがよいと思う。

(富田委員) 同感である。「市民の視点」としたほうがよい。

(本田委員長) 本来は「住民」だと思う。不法就労者などは「市民」ではないが、行政サービスを受けている。ただ、皆さんの意見のとおり、ここでは「市民」としたほうがわかりやすい。

(福田委員) ここで「納税者」と表現しているのは、コスト意識をもって改革を進めるという意味でコストをコントロールしたい考えがあるのではないか。

(山田副委員長) 「健全財政の維持」を目標に置くことから。コスト管理の意味があると思うが、「納税者」という限定した表現は違和感がある。

(本田委員長) 「改革の視点」の③「納税者の…」については、「市民の…」としたうえで、「コスト」という言葉を入れて補足したらよいのではないか。

また、6ページの図にある大きな2つの目標とサブ的な4つの目標という2種類の目標というのは、わかりづらいと思う。事務局でうまく工夫してほしい。

中期財政見通しの説明にあった財源不足の話であるが、無駄を省くというだけでなく、遊休資産などの売却を検討するなどを考えなくてはならないのではないか。実際には、実務レベルだけでの対応は難しいと思う。

(事務局) 行政をスリム化させるなどの行政改革だけでは対応することは難しいと思

っている。中期財政見通しで集中することが見込まれる市街地再開発などの社会基盤整備を平準化させるなどの方策を考えている。不用な土地の売却などについては、具体的な改革の項目として考えている。

(西川委員) 今後、地方交付税の基準財政需用額で今までゲタをはいていた部分がはずされるなどの状況があるが、そういうことを見込んでいるのか。

(事務局) 収入の見込みなどこれから変動する要素はあると思うが、あくまでも現行制度のもとでの試算をしている。

(西川委員) 中期財政見通しとして説明しているのは、アラアラの数字であり、実際には財源不足を低く見積もっている感じがある。例えば、今後、合併特例債の制度を使わないなどの細かい対応を示したほうがよいのではないか。また、「改革の視点」についてだが、「次の視点をもって改革に取り組みます。」よりは、「推進目標を達成するために、次の視点をもって改革に取り組みます。」にしたほうがよい。

(事務局) 財源不足をどう埋めるのか。精度は別として、そのための対応策は今後、載せていく。

(富田委員) 今回、具体的な項目が出ているが、行政改革による節減効果はどれだけあるのか。また、そういうことを記載してある欄があったほうがよい。

また、改革の目標にいつまでにやるということが書かれていないものがいくつかある。できるだけ、いつまでに検討するかなど書いたほうがよい。

(事務局) 個別事業の節減効果の積み上げはしていない。今後、全体的な財源不足への対応策として示していく。改革の目標でいつまでにやるのかについては、なるべく表現できるものは入れていく。

(吉野委員) 具体的な改革項目の中で、区民会議についての改革の目標が、区民会議の設置目的そのものを書いている。実際に、区民の意見を行政に反映させることはできていないのだから、その仕組みを作るなど工夫をしてほしい。

(事務局) 所管課と協議して、表現については見直す。

(福田委員) 効率的な組織・機構の整備にある「グループ制」とはなにか。

(事務局) 通常、組織体系としては、部、課、係などの構造となっているが、本市では、課長補佐などの中間管理職を廃止することにあわせ、係も廃止し、課長の権限で流動的に職員を配置できるグループ制を導入している。これは、係にとらわれず、他の担当しているグループにも兼務するなど柔軟に対応できる体制がとれるようにしている。

(福田委員) 制度はいいと思うが、こういう制度は形骸化しがちである。運用面でのチェックは重要になると思う。

区役所の権限について書かれているところがあるが、なんでもかんでも区役所に権限をもたせて小さな市役所を作るということでは、弊害があると思う。地元のニーズが反映されやすい形の区役所の権限を見直すとしたほうがよい。

(森田委員) P F I 等による民間活力の導入にある具体的な項目は、P F I を活用した内容なのか。

(事務局) ここでは、P F I 手法だけでなく、色々な手法によって民間活力を導入していくことを書いており、具体的な改革項目としては、P F I 事業ではなく、民間社会福祉法人への施設の譲渡や民間による施設整備の促進といった内容である。P F I 手法については、今年度、プラザノースという施設に導入しているが、今回の具体的な項目としては、既に導入済みということで記載をしていない。また、今のところ他に適当な事業がないため、具体的項目には載ってこない。

(長澤委員) 地域防犯活動の充実とあるが、自主防災組織で行っているパトロールなどでも、その保険に対して補助している区としていない区がある。同じさいたま市なのに対応が異なるのはおかしいと思う。

(事務局) その話は担当課に伝える。区役所では区民まちづくり推進費という形で区の特性を発揮できる予算があり、その中で対応しているものかもしれない。

(西川委員) 市全体で統一してやるべきことは、市でやるべきであり、区役所での対応は、独自性がある部分もあってよいと思う。

(島委員) 桜区役所に先日行ったのだが、大変りっぱな建物で市役所が見劣りするぐらいである。市役所建替えの計画はあるのか。また、中期財政見直しにはその計画は入っているのか。

(事務局) 市役所の建替えについては、三市合併の時点で協議された経緯もあり、政策企画部門で検討会議をもっているが、具体的な計画はない。中期財政見直しにも盛り込まれてはいない。

(福田委員) 職員研修の充実とあって、政策形成能力の向上など書いてあるが、コスト意識をどれだけもたせることができるかが重要である。

また、民間にできることは民間に任せるのではなく、民間がやるべきことは民間がやると考えるべきでないか。なんでも民間に任せて、コストを圧縮して社会全体の賃金水準が下がっていくようなことではいけないと思う。行政には公共の責任がある。

(西川委員) 今回具体的な改革項目が各部局から出されてきたと思うが、このような内容では甘いというような指摘ができるチェック機能をもった機関があるのか。

また、公共事業を減らさなければいけないのかということには疑問がある。適正な費用が適正に支払われているのかが問題なのではないか。例えば、実際 **800** 万円でできることに **1,000** 万円が支払われているとか。差額の **200** 万円でさらに道路延長をしてもよいのではないかと思う。

(事務局) 行政改革推進プラン策定にあたっての市の体制としては、市長を本部長とする行政改革推進本部という最高意思決定機関があり、その下に各部局の責任者で構成する行政改革推進会議がある。今回の改革項目の抽出などは、この各部局の責任者である行政改革推進委員にお願いをし、また、数値目標の設定など内容についての指摘についてもこの推進委員を通じて行っている。

(西川委員) この懇話会で、ここに出ているすべての項目について議論するのは困難であり、提案であるが、いくつかの項目について担当課に説明を求めるなど、限定して話し合ったほうがよいと思う。

(事務局) 今回のプランは5年間という期間を設定しており、その間の進行管理についても皆さんにお願いをしている。進行管理では各部局から進捗状況を報告してもらおう。

(西川委員) 数も多く、内容も詳しくないので、結局すべて了承することで終わってしまう。総花的で終わらないためにも、注目される項目だけを議論したほうがよいと思う。

(福田委員) 具体的な改革項目を進行管理するにあたっては、財政的な数字等がわかる報告であったほうが、チェックしやすいと思う。

(本田委員長) 11ページの**Value for Money** という言葉は役所の人にはわかると思うが、市民が読むことを考えるとちゃんと補足したほうがよい。いわゆる「お金に対する価値」であるから、同じコストならサービスの向上、同じサービスならコストを下げるといった市民向けの言葉にしないとわからない。

(山田副委員長) 8ページの「市民活動の促進と支援」の⑤企業による社会貢献活動の促進について、企業による社会貢献を働きかけるのではなく、企業が自ら社会貢献に参画するという内容の表現に直したほうがよい。

(本田委員長) 先程の西川委員からの提案であるが、懇話会の委員は行政改革推進プラン策定に参画している以上、このプランに対しての責任があり、いくつかの項目だけを扱うわけにはいかないと思う。

この行政改革推進プランは、市の基本計画との整合性はあるのか。

(事務局) 大きな意味で、市の基本計画を踏襲しているものである。

(石田委員) 改革プログラムは体系的になっており、改革項目はかなり具体的な個別事業となっているようだが、再掲となっている項目が少ないように思う。縦軸を改革プログラムに横軸を具体的な改革項目において、具体的な改革項目が他の改革プログラムに副作用的にでも入っていないか検討した方がよいと思う。

(森田委員) 6ページの改革の全体像については、この懇話会の意見の集約であると思う。時間をかけて議論したほうがよい。

(本田委員長) 目標の並べ方など工夫が必要である。事務局に願います。

(事務局) 市民にわかりやすい形でもう一度検討する。

(長澤委員) 具体的な改革項目として「東大宮コミュニティセンター外 11 施設」となっているが、コミュニティセンターが他になれば「コミュニティセンター」だけでよいのではないか。

(事務局) この他に直営のコミュニティセンターもあるため、このような表現になっている。

(島委員) 看護補助業務とはなにか。

(事務局) 看護師の補助的な業務で食事を運ぶなどの業務である。

(福田委員) ハーベストクラブとはなにか。

(事務局) 緑区に古民家を移築した「民家園」という施設で行っているハーブ畑の管理運営を市民ボランティアと一緒にやっているものである。

(島委員) 街路樹を育てる里親制度とはなにか。

(事務局) 具体的な内容については、次回説明する。

(福田委員) 制度の概要などまとめたものがあるとよいと思う。

次回は、11月17日(木)に行う。